

令和7年12月11日
独立行政法人水資源機構
筑後川局
筑後川上流総合管理所
筑後川下流総合管理所

渇水対策本部の設置について

(筑後川局、筑後川上流総合管理所、筑後川下流総合管理所)

九州北部では、本年9月から少雨が続いており、特に11月の筑後川流域の平均雨量は平年の1割ほどにとどまっています。

これに対して11月上旬より必要な水をダムから補給したことで、水資源機構が管理する江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム及び大山ダムの貯水量は平年に比較して少ない状態で推移しています。

今後、更に少雨が続き、ダムからの補給が続いた場合には、利水者の水源確保に支障が生じることが懸念されることから、令和7年12月11日に第4回筑後川水系渇水調整連絡会が開催され、第1次渇水調整事項が合意されました。

これを受け、独立行政法人水資源機構筑後川局、筑後川上流総合管理所及び筑後川下流総合管理所は、12月11日(木)15時30分に渇水対策本部をそれぞれ設置しましたのでお知らせします。

今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ：国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、久留米市政記者クラブ、佐賀県政記者クラブ、日田市政記者クラブ、西日本新聞朝倉支局、読売新聞筑紫支局、毎日新聞福岡本部社会部、朝日新聞福岡本部社会部

お問い合わせ先：●渇水対策本部設置に関すること

筑後川局 総務課長 ^{うつみ}内海 施設管理課長 ^{うみの}海野
電 話：０９４２（３４）７００１（代表）

●江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム及び大山ダムに関すること

筑後川上流総合管理所 総務課長 ^{まつざき}松崎 管理課長 ^{むらた}村田
電 話：０９４６（２５）０１１３（代表）

●筑後大堰に関すること

筑後川下流総合管理所 総務課長 ^{よこかわ}横川 管理課長 ^{しかた}四方
電 話：０９４２（２６）４５５１（代表）

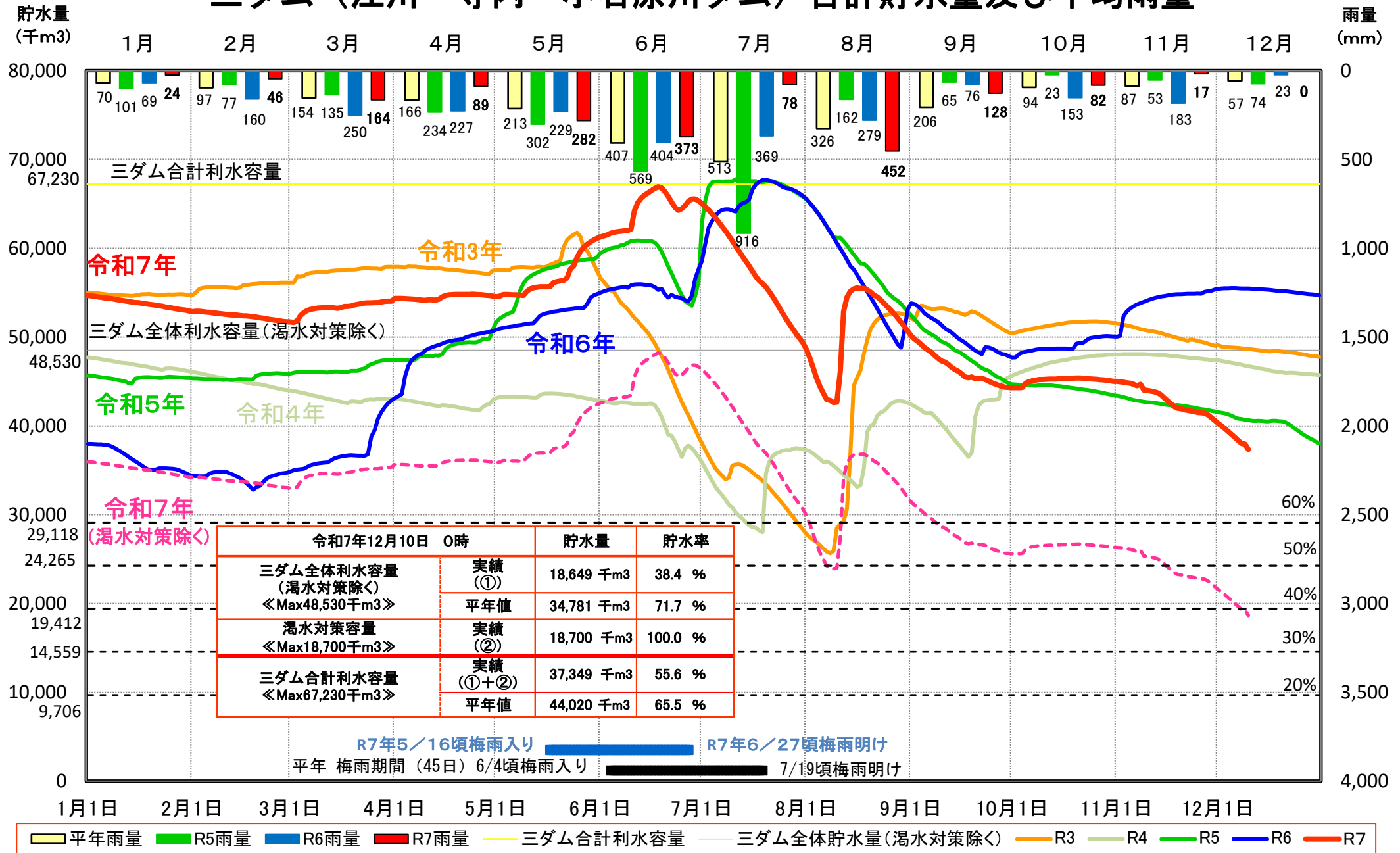
（水資源機構が管理するダムの現在の貯水状況）

【12月10日(水)0時現在 3ダム(江川、寺内、小石原川ダム)、大山ダム及び筑後大堰】

ダム名など	貯水量	貯水率
3ダム	1,865万 m^3 ※	約38% (平年値約72%)
大山ダム	713万 m^3	約65% (平年値約92%)
筑後大堰	66万 m^3	約71%

※ 渇水対策容量を除いた貯水量。渇水対策容量とは、危機管理対策として小石原川ダムに緊急水として備蓄される容量

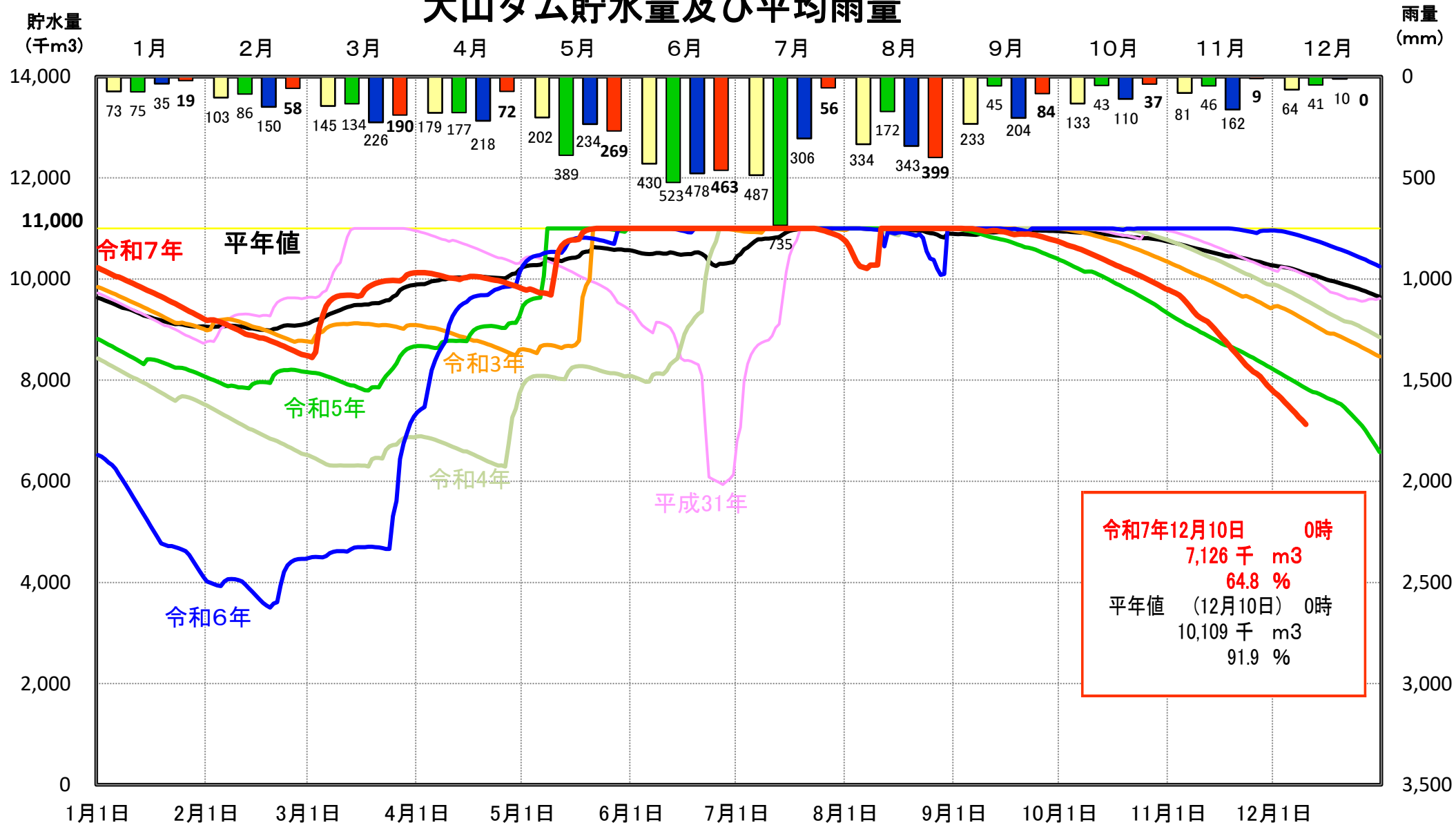
三ダム（江川・寺内・小石原川ダム）合計貯水量及び平均雨量



※小石原川ダム 試験湛水期間: 令和元年12月14日～令和3年10月15日、令和3年10月16日～三ダム総合運用開始(平年値は同時期から対象とする)

※寺内ダム 寺内ダム再生事業により利水容量を変更 令和7年4月1日～8,230千m3(変更前:9,000千m3)
(併せて、三ダム合計利水容量も変更 三ダム合計利水容量:67,230千m3(変更前:68,000千m3))

大山ダム貯水量及び平均雨量



※ 貯水率は、利水容量に対する割合である。

■ 平年雨量 (H25.4～)
 ■ R5雨量
 ■ R6雨量
 ■ R7雨量
 — 利水容量
 — 平年値 (H26.1～)
 — H31
 — R3
 — R4
 — R5
 — R6
 — R7

江川ダム、寺内ダム、小石原川、大山ダムの貯水池状況

	貯水率100%の貯水池	12月10日時点
江川ダム		
寺内ダム		
小石原川ダム		
大山ダム		

【参考資料】

位置図

